1 主翼面積 S, エンジン推力 T_{TO} , 揚力係数 C_L の見積もり

1.1 揚抗比 L/D, 抵抗 D の推算

教科書の例の BWD 機を参考にする。

$$AR = 9.0 \tag{1}$$

とし, S_{wet}/S は,BWD 機であるので,

$$\frac{S_{wet}}{S} = 3.0 \tag{2}$$

とする. すると配布プリント図 4.3 の図より,

$$\frac{AR}{S_{wet}/S} = 3.0 \tag{3}$$

$$\left(\frac{L}{D}\right)_{max} = 23.0\tag{4}$$

と推算できる.よって,

$$\begin{cases} \left(\frac{L}{D}\right)_{cruise} = 0.866 \left(\frac{L}{D}\right)_{max} = 20.4 \\ \left(\frac{L}{D}\right)_{loiter} = \left(\frac{L}{D}\right)_{max} = 23.0 \end{cases}$$
(5)

となり、これは2.1節(7)にて、

$$\begin{cases} \left(\frac{L}{D}\right) = \left(\frac{L}{D_{alt}}\right) = 20\\ \left(\frac{L}{D_{loiter}}\right) = 23 \end{cases}$$

$$(6)$$

としたことと矛盾しない.また、統計データより、

$$C_{f_e} = 0.003$$
 (7)

より、

$$C_{D_0} = C_{f_e} \frac{S_{wet}}{S} = 0.0090 \tag{8}$$

となり、

$$e = 0.80 \tag{9}$$

とすると、クリーン形態では

$$C_D = C_{D_0} + \frac{C_L^2}{e\pi AR} = 0.0090 + 0.0442C_L^2$$
(10)

またフラップと脚を動作させた状態では,

離陸フラップ:
$$\Delta C_{D_0} = 0.015$$
, $e = 0.75$ (11)

着陸フラップ:
$$\Delta C_{D_0} = 0.065$$
, $e = 0.70$ (12)

脚出しにより:
$$\Delta C_{D_0} = 0.020$$
 (13)

となるので,

離陸時 (脚収納):
$$C_D = 0.0240 + 0.0228C_L^2$$
 (14)

離陸時 (脚出し):
$$C_D = 0.0440 + 0.0228C_L^2$$
 (15)

着陸時 (脚収納):
$$C_D = 0.0740 + 0.0236C_L^2$$
 (16)

着陸時 (脚出し):
$$C_D = 0.0940 + 0.0236C_L^2$$
 (17)

が得られる.

1.2 離陸性能のサイジング

離陸性能の際のサイジングの代表値として,

$$C_{L_{max}TO} = 1.6, 2.0, 2.4 \tag{18}$$

を用いる. 統計関係式より,

$$S_{TOFL} = 40.3 \times \frac{(W/S)_{TO}}{\sigma C_{L_{max}TO} \cdot (T/W)_{TO}} = 10000 \ [ft]$$
 (19)

という関係が得られる. これを整理すると、代表値それぞれについて、

$$\begin{cases} (T/W)_{TO} = 0.00252(W/S)_{TO} & at \ C_{L_{max}TO} = 1.6 \\ (T/W)_{TO} = 0.00201(W/S)_{TO} & at \ C_{L_{max}TO} = 2.0 \\ (T/W)_{TO} = 0.00168(W/S)_{TO} & at \ C_{L_{max}TO} = 2.4 \end{cases}$$
(20)

となる.

1.3 着陸性能のサイジング

着陸性能のサイジング値の代表値として,

$$C_{L_{max}L} = 1.8, 2.2, 2.6, 3.0 (21)$$

を用いる. 設計要求より、

$$S_{FL} = 0.29V_A^2 = 0.29 \times (1.3V_{SL})^2 = 7000[ft]$$
 (22)

であるから

$$V_{SL} = 120[kt] \tag{23}$$

となる.

$$(W/S)_{TO} = \frac{\frac{1}{2}\rho V_{SL}^2 C_{L_{max}L}}{W_L/W_{TO}}$$
 (24)

ここで

$$W_L/W_{TO} = 0.80, \quad \rho = 1.225[kg/m^3] = 0.125[kg \cdot s^2/m^4]$$
 (25)

であるから、代表値それぞれについて、

$$\begin{cases} (W/S)_{TO} = 108.8 \ [Ib/ft^2] & at \quad C_{L_{max}L} = 1.8 \\ (W/S)_{TO} = 133.0 \ [Ib/ft^2] & at \quad C_{L_{max}L} = 2.2 \\ (W/S)_{TO} = 157.2 \ [Ib/ft^2] & at \quad C_{L_{max}L} = 2.6 \\ (W/S)_{TO} = 181.4 \ [Ib/ft^2] & at \quad C_{L_{max}L} = 3.0 \end{cases}$$

$$(26)$$

となる.

1.4 上昇性能のサイジング

上昇性能のサイジングは, FAR25 の機体において最も厳しい要求である,second segment climb requirements(OEI) についてのみ行う. 設計機体は 3 発機であるから, 上昇勾配 γ について

$$\gamma > 0.027 \tag{27}$$

であるので,

$$(T/W)_{TO} = \frac{3}{2} \left(\frac{1}{L/D} + 0.027 \right) \quad at \ 1.2V_{STO}$$
 (28)

となる.second segment climb requirement においては、離陸時脚収納状態であるから、式 (14) より、

$$C_D = 0.0240 + 0.0228C_L^2 = 0.087 (29)$$

であるから,

$$\frac{L}{D} = \frac{C_L}{C_D} = 19.1 \tag{30}$$

となる. よって式 (28) にこれを代入して,

$$(T/W)_{TO} = 0.119 (31)$$

これに標準待機状態より気温が 27.8[°C] 高い影響で推力が 20% ほど低下する影響を加味して,

$$(T/W)_{TO} = \frac{0.119}{0.8} = 0.149 \tag{32}$$

となる.

1.5 巡航速度のサイジング

巡航時の関係式は

$$\left(\frac{T}{W}\right)_{cr} = \frac{(C_{D_0} + \Delta C_{D_0})q}{W/S} + \frac{W/S}{qe\pi AR}$$
(33)

となる. ここで、標準大気表より、高度 38000[ft] での巡航時動圧 q

$$q = \frac{1}{2}\rho V^2 \tag{34}$$

$$= \frac{1}{2} \times 0.272 \times 0.125 [kg \cdot s^2/m^4] \times (M0.8 \times 0.867 \times 340.3 [m/s])$$
 (35)

$$= 194[Ib/ft^2] (36)$$

また圧縮性の影響より

$$\Delta C_{D_0} = 0.0030 \tag{37}$$

設計要求より,

$$L_{p_{cr}} = 0.167 (38)$$

また

$$\frac{W_{cr}}{W_{TO}} = \frac{W_1}{W_{TO}} \frac{W_2}{W_1} \frac{W_3}{W_2} \frac{W_4}{W_3} = 0.956 \tag{39}$$

よって、これらの値を用いて,

$$(T/W)_{TO} = \frac{\left(\frac{T}{W}\right)_{cr}\left(\frac{W_{cr}}{W_{TO}}\right)}{L_{p_{cr}}} = 5.72 \left(\frac{2.43}{(W/S)_{TO}} + \frac{(W/S)_{TO}}{4585}\right) \tag{40}$$

を得る.

1.6 サイジングプロット

3.2 3.5 節からサイジングプロットを描くと、下図のようになる.

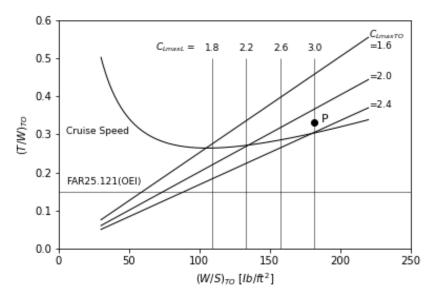


図 1 420 人乗り BWB 機のサイジング結果

ここでは、上図の P 点 $(C_{L_{max}L}=3.0,C_{L_{max}TO}=2.2)$ を設計点とする. すると、

$$\begin{cases} (T/W)_{TO} = 0.3323 \\ (W/S)_{TO} = 181 \ [Ib/ft^2] \end{cases} \tag{41}$$

となるので、先に得られた $W_{TO}=896000[Ibs]$ より、

$$\begin{cases}
T = 297756 \ [Ib] \\
S = 4938.9 \ [ft^2]
\end{cases}$$
(42)

を得る.